



2019年4月

第286号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 久保田 貞視
副会長 花輪 宗命・並木信一
書記 多河敏子・長谷川あや子
会計 小口 多津子
ネット会長 久保田佐和子
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子・多河 敏子
直前会長 小口 多津子

国際会長 Moon Sang Bong (韓国) 主題 “Yes, we can change”
スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」
アジア地域会長 田中博之(東日本区) 主題 Action 「アクション」
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 主題: 「為せば、成る」
副題「ワイズが何をしてくれるかだけでなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」
あずさ部部长 廣瀬 健 (甲府21) 主題「未来はそれを備える人のものである」
クラブ会長 主題「動こう、動かそう！」副題「変わろう、変えよう！」

3月例会プログラム

日時: 2019年4月13日(土) 午後6時～8時

会場: 八王子市北野事務所 2F

受付: 小口・中里

司会: 長谷川

開会点鐘 久保田会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジター紹介 久保田会長

お点前デモンストレーション 深尾 香子さん

聖句・食前の感謝 中里

会食

卓話 (茶の湯者) ～ “chanoyuxa” 教会奉仕の専門職

深尾 香子 (きょうこ) さん (東京多摩みなみクラブ)

東京 YMCA 報告 担当主事: 中里

報告・連絡事項 久保田会長 他

スマイル 小口

A Happy Birthday 久保田会長

閉会点鐘 久保田会長

巻頭言

21回東日本大震災被災者支援及び地雷廃絶のための チャリティコンサートを終了して 久保田貞視

第21回目のチャリティコンサートは3月16日、成功裡に終了しました。今回は八王子出身の奈良原繭里さんのソプラノと下岡達朗さんのピアノで、二人のコンビネーションが良く、イタリア歌曲、日本歌曲、オペラなどを唄っていただき観客を沸かせました。

チケットの売り上げは392枚となり、特に当日券の売り上げは55枚と過去最高となり、会場での募金は106,613円とこれも最多となりました。

今回の成功の原因は山本実行委員長の指導力と全員参加によりチケットの販売ならびに広報に持ち、力を注いだことにあります。広報では、八王子市の広報、ショッパー、

先月の例会ポイント (3月)

2019年3月コンサート開催

BFポイント

在籍	16名	切手 (国内・海外)	300g
メン	14名	累計	630g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	87.5%	累計	0円
メネット	4名	スマイル	12,795円
ゲスト	5名	累計	66,009円
ビジター	0名	オークション	0円
ひつじぐも	6名		

今月の聖句(2019年4月)

イエスは言われた。「私は復活であり、命である。私を信じる者は、死んでも生きる。生きていて私を信じる者は誰も、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」 (ヨハネによる福音書 11:25～27)

*2019年2月より、聖句は、2018年版の聖書協会共同訳を使用しています。

八王子市民活動協議会の機関紙「SUPPORT 8 0 2」、はちコミネット、それに並木さんが取材を受けた「タウンニュース」に加えて、北野市民センター、北野台自治会、子安市民センター、学園都市センターその他へのポスター展示、チラシの配布、更に、奈良原さんのファンクラブのメンバーも参加されたことが寄与しています。

入場券の売り上げに募金、寄附等を合計した金額から出演者への謝礼、会場費、諸経費を差し引いた残金は 381,494 円となりました。2 3 日の第 2 例会で寄付の配分を協議した結果、東日本大震災には、ワイズ東日本大災害支援に 100,000 円、東京 YMCA の震災指定口座に 85,000 円、JCBL には 185,000 円寄付することにしました。

今回、観客の約 90%が地域の方で、ワイズメンには多く入場券は購入していただいたものの参加者が少なかったことは地元の人で会場がほぼ 9 割埋まったことより、会場担当としてはホッとした次第です。

継続は力、並木さんがタウンニュースで「公演重ね 500 万円寄付」も宣伝効果は十分あったものと思われます。皆様本当にお疲れさまでした。また、中央大学のひつじぐものご協力いただいた学生さんにも感謝いたします。会場の設定、終了後の後片付けには、ひつじぐもの皆さんの協力は不可欠となっています。



次期会長・部役員研修会に参加して

長谷川あや子

3 月 9～10 日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「次期会長・部役員研修会」に次期あずさ部国際・交流事業主査として出席いたしました。本当に久しぶりのオリセンでした。二日間みっちり研修を受けましたが、次期は“会員増強まっくら”という感じでした。

研修Ⅰでは東日本区の現況、アジア太平洋エリア・国際の現況、山田敏明次期理事方針、ワイズ・YMCA パートナーシップについて学びました。研修Ⅱでは西日本区将来構想特別委員会委員長でいらっしゃる森田 恵三さんより「ワイズへの思い—これまでとこれから 国際ワイズ創立100周年に向かって」と題し基調講演を頂きました。「心を求めて例会に、境地を得て例会を去る」「ワイズの未来は私たちの心にしかない」と

いう言葉が印象的でした。「ワイズ必携」に書かれていた“ワイズ温泉どっぷり論”を思い出された方も多いことでしょう。続いて『会員増強—新しいワイズ像』5 名のパネリスト…森田恵三、宮内友弥、山田敏明、札埜慶一、伊丹一之の方々と直前理事栗本治郎さんの司会によるパネルディスカッションがありました。ワイズ 100 周年に向けて東日本区を盛り立て、会員数を 1246 名(東西に分かれた時の会員数)に伸ばしたい。何もしなければワイズは消滅する。ワイズメンズクラブの認知度を上げるために SNS を利用して大いに各クラブの特色、事業をアピールして下さいとの要望がありました。クリスチャニティについても活発な議論がありましたが、クリスチャンであってもなくても、愛の業を学び合う姿勢が大切なのではないでしょうか。

夕食懇親会は札幌や多摩みなみ、熱海グローリークラブの方々と一緒にテーブルでしたが和気藹々とした楽しい雰囲気でした。初めてお会いする方も親しくお話しできるのがワイズのよいところですね。その後、次期あずさ部部長赤羽美栄子さん(松本クラブ)を囲んで話し合いの時を持ちましたが、あずさ部 11 クラブ中 6 クラブが女性会長、4 事業主査の中 2 人が女性です！これからは「あずさおとめ～ず」と呼んで下さい。私たち一人ひとりワイズ 100 年の中の小さな一粒にすぎませんが、それぞれが持ち味を生かして輝き、世を照らす一灯となりたいものだと思います。心を新たにさせて頂いた二日間でした。ありがとうございました。

卓話者の紹介 深尾香子さん(多摩みなみクラブ) 《茶の湯者》～“chanoyuxa” 教会奉仕の専門職

実家にあった茶筌と茶碗は 3 歳児の「ままごと遊び」の玩具に過ぎなかったが、大学では縁あって日本文化史を専攻。20 歳を契機に家を出され、厳しい師匠に弟子入りするも茶の湯では食べていけないと訝しみ、一般企業～公務員となる。

その頃、地元の児童館が予算削減を理由に「子ども茶の湯教室」を閉鎖。路頭に迷う子ども達を救うべく活動を開始。その後、高齢化に喘ぐ多摩市にてまたも縁あって「介護予防リーダー」となる。約一年の研修の中からシニアに効く茶の湯カリキュラムを考案。3 年目を迎えじわじわと結果が出てきて手応えを感じている。

卓話の出版はスモットニー裕美著「茶の湯とイエズス会宣教師」2016 年思文閣出版。

深尾香子さんは 3 年前に設立された東京多摩みなみクラブのチャーターメンバーであり、現クラブ会長です。茶の湯のお話と言ってもいろいろな角度からお聞きすることができますが、4 月例会では、茶の湯とイエズス会の歴史的な面のお話が聞けそうです。

どうぞ楽しみになさって下さい。

西東京センター便り

西東京センター 主任主事 中里 敦

今年も国立の桜は美しく、大学通りでは多くの人が足を止め青空をバックに、またライトアップされた夜桜を写真におさめています。寒いので桜の花が少し長く楽しめますが、花を見ながら外で楽しむのはつらそうです。

西東京からのお便りですが、先日の八王子ワイズのチャリティーコンサートのことに触れたいと思います。私が担当主事になってから3回目のコンサートで、去年はキャンプと重なっていたため参加できず、2回目の参加でした。一昨年は席がなくなりそうだったことはなかったと記憶していますが、今回は用意した席がほとんどなくなるほどの来場者があり、その90%以上が地域の人たちでそのことに驚きつつ、当日呼びかけた対人地雷廃絶と東日本大震災支援募金も10万円を超える募金が寄せられたことにさらに驚きました。対人地雷廃絶募金は20年間で500万円を超えると今回初めて知りました。これも継続のなせる業だと思います。コンサート終了後の来場者は皆さん笑顔で満足していて、募金も手に用意して快くしていました。

今回のチャリティーコンサートで、地域の人たちに呼び掛けワイズの願いに賛同して足を運んでもらい、募金を集め必要とする人たちを支援していく、ワイズがしている働きを改めて感じる時でした。そして、その働きを担当主事として共に関わったことを嬉しく感じました。

このようなワイズの働きを通してYMCAを知ってもらう機会にもなっていることも分りました。八王子地域にはYMCAはありませんが、「地域とともに」ある八王子ワイズの活動をこれからも共に支えていければと思います。また、収益の一部を東京YMCAの東日本大震災支援募金にも寄付をしていただけたことにも感謝いたします。

中大ひつじぐも便り

ひつじぐも3年 岡村絢音

3月16日(土)、東京八王子ワイズメンズクラブ主催のチャリティーコンサートが北野市民センターにて開催され、私たちひつじぐものメンバーも、運営ボランティアとして参加させていただきました。開演は午後からでしたが、私たちボランティアと実行委員の方々は朝早くに会場に集合して、会場設営やプログラムの用意など、様々な仕事に追われました。コンサート中は、出演者の方の美しい歌声とピアノ演奏に魅了され、最後には観客の皆さんも一緒になって合唱し、コンサートは無事に終了しました。体を動かす仕事やスピードを求められる仕事も多く苦労しましたが、自分たちも準備に携わったこのコンサートに、会場の席がほぼ埋まってしまふほど多くの方々が足を運んでくださり、コンサートに関わった者の一人として喜びと充実感を得ました。

一方で、今回の活動を通して、仕事を与えられるのを待つだけではなく自分で「今何をすべきか考えながら動く」、ということの重要性も認識させられました。会場設営を円滑に進めるためには準備に携わる全員が仕事を分担して同時並行で動く必要がありますが、実際の現場では、次の仕事を指示されるまで待っていることも多く、その待ち時間さえも、自分から積極的に手伝いを申し出ることも出来たのではないかと、今になって反省しています。どんな活動であれ、「ボランティア」として来ている以上「ただそこにいるだけ」では駄目で、自分が相手のニーズを理解した上でその活動に貢献してこそはじめて「ボランティア」として活動に参加する意味があるのではないかと感じました。今後の活動でも、以上のことを肝に銘じて、多くの方々のお役に立てるように心がけていきたいです。

今月の聖句によせて (2019年4月)

今年のイースター(復活祭)は4月21日です。子どもの頃、イースターの楽しみは、きれいに彩色された卵をいただくことでした。今でも、教会学校やキリスト教主義の幼稚園、保育園などで子ども達は、きれいに色づけられた卵を交換したり貰ったりするのを楽しみにしています。イースターの卵の由来については、いくつかの説があるようです。次はそのうちの一つです。

イエス・キリストの受難をしのぶレント(受難節)には、キリストの苦しみを思い、少しでもその苦しみを分かち合うために断食をしたり、ぜいたくをしないように努力することがすすめられています。そこで、このレントが終わり、イースターの朝を迎えると、長い間我慢してきた肉や卵を喜びをもって食べるのです。

イエス・キリストの復活の喜びと共に、久しぶりに食卓にのった卵のなんと美しく、おいしいことでしょう。

並木信一

報 告

2019年3月23日・第二例会のご報告です(敬称略)

・出席者:久保田会長

A班:中里・長谷川・小口 B班:福田・並木・花輪

C班・・・山本・多河 以上9名

以下は協議及び報告事項。

1. コンサートの評価・反省・来年の演奏家・日程など。

① アンケート集計結果の報告、全般的に評判は非常に良かった。

② 小口さんよりチャリティコンサートの収支報告があり、収益381,494円となり、皆で協議の結果、次のように寄付することにした。

東日本大震災支援:ワイズに対して100,000円

東京YMCAに85,000円

JCBL:185,000円 JCBL年会費10,000円

③ 来年の予定は3月14日(土)とし、奈良原繭里さんとピアニストか彼女のご主人のバイオリニストを入れる。

2. 1. 5月11日・土曜日は評議会・長野

第1例会は5月25日。卓話は「宇宙開発、官から民へ。宇宙ビジネスの幕開け」講師は上野次郎さん

2. 中大ひつじも新入生歓迎会5月12日(日)草刈り・10時集合→12時まで作業、そのあとバーベキュー。

3. 八王子クラブ設立25周年記念例会は10月12日(土)ワクワクレッジ(会費三千元・1時30分から)25年の歩み、については茂木さんにお問い合わせ。

4. 4月13日(土)第一例会の卓話は江戸千家(お茶の先生)

5. 4月の第二例会は4月27日(土)午後6時辻ワイズ宅に集合(500円A班)

6. 6月1日東日本区大会・アジア・太平洋地域大会(仙台)出来るだけ参加しましょう。

7. クラブ会則第4条、第7項「会友」の項に「会費は切手代として年1,000円支払う。その他は実費とする。」と追加すべく会則を変更する。

◎ 八王子クラブの皆さま(久保田会長より)

第21回チャリティーコンサートは無事終了いたしました。メンバー全員の一致団結した行動によって大成功を納めたことに感謝致します。入場券の売り上げに加えて寄付も多く、今回コンサートの反省会も含めてメンバー以外の会友の対比、東日本区大会、アジア・パシフィック大会、今後の活動についてもご意見を寄せてください。

絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【報告】3月12日(火)14:00~15:00 手工芸

参加者:赤羽、石井、下重、調、多河、山口、山中、茂木

【予定】4月9日(火)14:00~15:00 手工芸

*BF2019年3月報告 プルタブ報告

切手:国内 20g

海外 0g 累計 20g

プルタブ 1330g

東京サンライズクラブ設立30周年記念例会に

参加して

久保田貞視

親クラブである東京サンライズクラブの設立30周年記念例会が3月23日、日本橋のブラッセリー東洋で開催され、長谷川あや子ワイズと出席しました。出席者はあずさ部の他、東日本区各部及びDBC/IBCを含め73名、同クラブ15名で88名と多数の出席となりました。

記念例会では大谷会長の歓迎の挨拶、ワイズの来賓、親クラブである山手クラブの機能ワイズの祝辞と続き、東京サンライズの30年のあゆみを小山久恵ワイズがパワーポイントで説明されました。東京山手クラブのメンバー数人が中心となり同クラブは1989年5月に山中湖センターでチャーターキャンプを開催し、設立当初は午前7時から例会を始めていました。

1994年10月末には同クラブが親クラブとなり、同クラブ設立に中心的役割を果たした奈良昭彦ワイズが移籍し、主となって初めての子クラブとして東京八王子クラブを設立しました。同クラブは山中湖センターを拠点に活動を展開しており、6年間は親クラブの同クラブ、東京多摩と東京八王子の3クラブ合同例会を山中センターに一泊し開催していました。IBCでは設立年度に台北ユニオンクラブとお見合いし、翌年5月にはIBCを締結。DBCは1999年4月、東広島クラブと締結、その後、京都プリンスクラブともDBCとなり、現在は3クラブのトライアングルを締結して交流を深めています。同クラブは山中湖センターでの「地域の子供たちのためのクリスマス」支援は27回となり、今は、富士五湖クラブと合同で開催しています。

第二部では祝会・懇親会となり、IBC及びDBC代表の祝辞の後、唯一の子クラブとして八王子クラブの久保田が設立30周年のお祝とともにクラブ設立時、山中湖でワイズの精神及びYMCAのキャンプ活動のあり方に等もご指導いただき感謝している旨伝え、同クラブの発展を祈念し、乾杯しました。ただ、今回の余興としての「童謡100周年記念に寄せて」は素晴らしい試みでした。日本橋の美味しい料理とお酒を嗜み、楽しい交流により、サンライズの設立30周年をお祝できたことは子クラブとしても楽しい思い出となりました。

4月のお誕生日の皆さん

久保田 貞視さん

4月8日

仲田 節子さん

4月24日